

港区立青山中学校
令和4年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年は、「主体的に学習に取り組む態度」は、概ね達成できている。「知識・技能」の基礎の定着をさらに図り、「思考・判断・表現」に重きをおき指導していく事が課題である。 ・2学年は、漢字の読み書き等はある程度できている。文学的文章の読み取りについては個人差が大きいので、全体を底上げしていきたい。論理的文章の読み取りに関してはやや課題がある。 ・3学年は、文学的文章の読み取りに関しては、比較的できる。論理的文章の読み取りについてやや課題がある。スピーチ等の能力は向上してきた。聞き取りの力がやや弱い。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年は、地形や気候、そこでの人々の生活の様子などに興味を持ち、追求しようとする生徒が多い。一方で基礎の定着や自然条件や社会条件を関連づけて理解することが課題である。 ・2学年は、基礎的な知識・技能が徐々に身につけてきている一方で、社会的事象の共通点や相違点を見出し、自身の考えを説明することが苦手な生徒が多い。 ・3学年は、基礎的な知識・技能が身に付いている生徒が多く、地理・歴史・公民を横断的に繋げて思考することができるようになってきている。その反面、考え方を比較・応用することが苦手であり、話し合いの場面で意見が広がらないことが課題である。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年は、小学校での学習の小数・分数の計算、正負の数の四則計算、文字式での関係を表す式について課題がある。 ・第2学年は、連立方程式の利用について課題がある。 ・第3学年は、いろいろな因数分解、平方根の概念、2次方程式を解く時の判断について課題がある。全体的に説明する力が弱い。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年は自然事象の観察・実験に非常に興味があるものの、それらを系統的にとらえることを苦手としている生徒が多い。 ・第2学年は、徐々に基礎的な力が身につけてきている。自然事象に対して、定量的に考えることを苦手としている生徒が多い。 ・第3学年は多くの生徒が、基礎・標準レベルの力をつけていると言える。複数の事象を組み合わせて考えることを苦手としている。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年は、一つの情報を聞くことは得意であるが、複数の情報を組み合わせて考えることに課題がある。単語を書くことにおいて苦手意識を持っている生徒が多い。 ・第2学年は、基礎的な読む力はある。単語を書くことに苦手意識がある。場面に応じた英作文を書こうとする意欲は出てきている。 ・第3学年は日常生活についての表現には慣れて意欲的であるが社会や世界に関連するトピックについての表現活動において語彙を広げ意見を交わす力が弱い。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>文章の種類に応じた読み取りの方法を身につけ、自分の考えを広げたり深めたりする。お互いの立場を理解し、根拠を示して話し合いができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールタクトを用い、各自が自分の考えを出し合い、共有しながら読み取りができるようにする。 ・論理的文章、文学的文章それぞれの読み取りのスキルを身につけさせる。 ・スピーチの活動を行う。その際、スピーチの内容に関するクイズを出題したり、内容について質問したりさせ、相互に交流する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・反復学習を取り入れ、基礎的な知識・技能を養う。 ・単元ごとのまとまりを通した「問」を立て、一つの課題を追及し各自が見解をまとめ、意見交換を行う。 ・タブレットを活用した話し合い活動を通して、社会的な事象の原因や結果を分析できるようにする。 ・社会的な事象の横断的なつながりを意識させることで社会の仕組みを理解し、課題意識を持てるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
数学	数学的な基礎的な概念や原理・法則の理解とともに数学的に表現・処理する技能を身につけ、数学的な思考力・判断力・表現力を養い、数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて数学を生活や学習に生かしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に応じて教材や授業形態を使い分け、標準は基本の徹底を、発展はより思考の充実を図る。 ・反復演習の徹底。 ・振り返りテストの実施とその反省を蓄積する。 ・課題について考え、生徒同士で学び合う時間を単元ごとに設ける。 ・教え合ったり、学び合う中で、用語を多く用いて説明する機会を作る。 ・デジタル教科書やタブレットを活用し、個別最適化を推進する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	自然事象へに対する興味・関心や理解度を高め、観察・実験を通して、科学的に探究することができる力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 端末を有効活用し、生徒一人一人の学習到達度に合わせた個別最適化を図る。デジタルコンテンツを利用したり、単元ごとに振り返りテストを実施したりすることで、基礎学力の向上を図る。 ・生徒一人一人の興味・関心の方向性に応じた探求的な学習を実施する。多様な意見を共有し、合意形成を行う、協同的な学びを行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	曲想と構造などとの関わり及び多様性について理解し、表現を工夫するための技能を身につける。表現を創意工夫し、良さを味わって聴く。主体的・協働的に取り組み、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を豊かにしていく態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心をもち、創意工夫を活かしながら技能の向上を目指すため、内容理解を深める学習活動を行う。 ・音楽に対する評価や創意工夫について、知覚・感受したことを言語化させる。その際、自己の意見をもち他者の意見を聴く活動を取り入れることで、多様な考えや表現からより良いものを創造する力を養わせる。言語化した内容を表現活動に活かすよう指導する。 ・他者と表現を共有し、創り上げる体験を通して、協同する喜びを感じさせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	<p>多様な表現や技術があることを理解し、自分の考えを表現に変えるための手立てを増やす。</p> <p>友人や作家の作品を鑑賞する能力を身につけ、自分以外の表現を尊重する力をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアから作品制作に至る過程に小さなワーク(目標)を設定し、一つ一つの課題をクリアしていくことで完成に近づく達成感や自信を持たせていく。 ・友人の作品のいいところや工夫している点を知るための鑑賞の機会を増やしていく。 ・各時間ごとのゴールを明確にし、板書等で視覚的に共有することで、見通しをもって課題に取り組ませる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
保健体育	<p>運動、体力の必要性について理解し、基本的な技能を身に付ける。また、自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養い、最善を尽くして運動する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健や実技の授業を通して、運動の大切さを理解した上で、運動習慣やスポーツテストの結果を見直し、改善できるよう運動計画・目標を設定する。 ・各単元において、学習カードや実演をもとに、技能のポイントや課題解決に向けての練習方法を理解した上で、グループ活動では、自分の意見や考えを伝えるたりできるようにする。 ・自分の能力に合った目標を設定し、達成感を味わえるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
技術・家庭	<p>生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し表現するなど、課題を解決する力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中から技術や家庭に関わる問題を見いだして課題を設定する。 ・課題を解決するために解決策を構想する。 ・構想した自分の考えを、製作図等に表現したり、試作等を通じて具体化する。 ・実践したことをクラスメイトに聞き、他者の考えを聞くことで評価・改善につなげる。 ・実践を評価・改善し、考察したことを表現する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
外国語(英語・国際)	<p>外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動の中で、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝えあったりするための語形・語法・語彙の知識・理解を伸ばす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を使い、視覚的・聴覚的に語形・語法・語彙が実際に使われている場面からの導入をさらに促進する。 ・内容理解などについて授業の中で活動に取り入れ、周りとの関りを持ちながら、学習を進めていくことで生徒自身が自分の理解度を図れるようにする。(協同的な学び) ・習熟度に合わせたまなびポケットを使った学習の仕方を指導する。(個別最適化)

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考え、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が問題意識をもち、主体的に考えられるように、ねらいや生徒の実態に応じて、教材を工夫する。 ・話し合い活動を取り入れ、他の人の考えを聞き、自分の考えを広げる時間をつくる。 ・ICTを活用し動画を見せたり、他の人の意見を互いに共有する。 ・振り返りの時間では、今後活かしていきたいことを考える時間をつくる。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付ける。集団生活や社会における生活及び人間関係をよりよく形成し、自己実現を図ろうとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動では、班や係、当番活動の中で自己の役割を明確にし、リーダーだけでなく一人一人が責任をもち取組む。 ・生徒会活動では、生徒会の一員という意識を持ち中央委員会で話し合ったことなどを朝礼や学級で伝えるようにする。 ・学校行事では生徒主体に運営ができるよう実行委員を中心に計画を立てていく。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく問題を解決するための知識・技能を身につけ探究学習の良さを理解する。 ・実生活の中から問いを見いだし課題設定する力。情報を集め整理・分析しまとめ、表現する力を身につける。 ・探求的な学習に主体的、協動的に取り組む互いの良さを生かしながら社会に参画しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題設定」→「情報収集」→「整理・分析」→「まとめ・表現」というプロセスを基本とする。 ・実際に学習活動や扱う学習対象と発揮される資質・能力を具体的に想定して、「探究学習」の材料を集めるようにする。 ・第1学年はスキー教室を通して事前事後の調べ学習を行う。職業講話を通して進路学習を行う。第2学年は職場体験の事前事後学習、キャリア教育を行う。第3学年は修学旅行を通して事前事後学習を行い進路学習・キャリア教育・ボランティア活動を行う。